

みんなが住みよい まちづくりをめざして

～湖南市区長会活動紹介～

区長会とは、市内43行政区の代表である区長の集まりです。定例区長会議や三役会などを開催して意見や情報の交換を行い、地域の皆さんが住みよいまちになるように日々活動しています。今後も地域の様々な取組にご協力をお願いします。

区長会まちづくり研修会

1月の定例区長会議終了後、各区の取組について情報共有することを目的に、まちづくり研修会を行いました。研修会では、各区長が事前に回答した「まちづくりに関する実態調査」の結果を報告し、意見交換を行いました。

☎区長会事務局(地域創生推進課)(東庁舎)

☎71・2315 ☎72・2000

区長会県外研修

8月に友好交流都市である鳥取県北栄町を訪問し、平成28年10月に発生した鳥取中部地震における地域の対応や課題などについて学びました。

参加者の声

湖南省で同じような災害が発生した時に、地域のふるさと防災の在り方で災害に対応できるのか疑問に感じると同時に、これから「どう変えていくべきか」を考えさせられる大変有意義な研修だった。



先月26日、市議会3月定例会を招集しました。この議会では主に来年度の当初予算を審議していただきます。

平成30年度の一般会計当初予算案は、211億1千万円で、災害時の避難所ともなる小中学校の耐震化など大型事業に一定の区切りがついたことから、今年度より8億7千万円少なくなっています。

そのなかでは、中学校に引き続いて2か年計画で小学校に順次空調設備を整備していくとともに、想定される大地震に備えて、来庁者の安全を最優先に、被災市民の救助、復旧、復興など被災後の業務継続が滞ることのないよう災害に強い庁舎への改築に向けた基本設計に着手してまいります。

それに加え、懸案でもある市道甲西駅美松線の道路新設や石部駅バリアフリー化に向けた補償



調査など、交通基盤インフラの整備も進めることとしています。

地域の活力を生み出すための地方創生関係としては、観光面で三雲城周辺街並みのAR再現や農福連携事業、地域まちづくり協議会への地域活性化先進モデル事業交付金や若者による政策コンテストなど、将来を見通したうえで逆算しながら、現在取り組むべきさまざまな事業に取り組んでいきます。

また、地域課題解決型の起業を牽引するローカルベンチャー事業やクラウドファンディングを活用した市民活動の支援環境整備など地域が活性化するしかけも作りあげていきます。

さらには、市議会へタブレット端末を導入することでペーパーレス化を促進したり、防犯灯・街路灯のLED化による省エネルギー化、民間事業者による保育施設整備への補助、天然記念物ウツクシマツ自生地保存活用、空家活用ハブセンターの運営、教員の働き方改革の支援、電子図書館システムの導入などについても計上しました。

財政的に厳しいなかにはありますが、すべての自治の基盤となるまちづくりにご理解とご参加をお願いします。